



# 角笛会会報

ホームページ: [http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno\\_hp/index.shtml](http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno_hp/index.shtml)

## 発行所

日本大学生物資源科学部  
獣医学科角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3633



## 巻頭のご挨拶

角笛会会長 中川 秀 樹 (昭和40年卒)

ポイントによる施設紹介と業務、就業条件の特色など丁寧な説明が好評でした。就職希望の学生に多くの募集施設の説明が一日で受けられる機会を提供できたことは、同窓会の役割を活用する事業に発展することが期待されます。

総会では報告事項、決算、事業計画案、予算案など審議事項8議案が満場一致で承認されました。第5号議案、新役員選任(平成28-29年)において、副会長は鎌田寛教授、鳥海弘神奈川県獣医師会々長が留任、新副会長として森友忠昭教授が就任され、事務局長は鯉江洋教授が留任されました。また、新たに事務局役職名の追加が承認され、企画広報に岡林堅、企画渉外に齋藤光芳両先生が就任されました。会長は常任幹事会の推薦により、引き続いて小生が務めることになりました。これまで副会長としての会の運営に尽力賜りました副会長丸山総一教授は学部要職に専念頂くため、常任幹事として支えて頂きます。

ANMEC研究助成は選考委員会で審議され、“フィブロスキャンを用いた牛の肝臓の硬度および脂肪沈着量の測定に関する研究”で応募された大野真美子氏に決定いたしました。

第15回日本大学医療系同窓・校友学術講演会が平成28年9月24日(土)に日本大学会館で角笛会の担当で開催されました。共通テーマ「教育について」に関して5学部の講演があり、本学からは「獣医学教育はグローバル化を目指すか」という論に基づき、杉谷博士教授に御講演を頂きました。グローバル社会が求める獣医師を、日本の大学教育が担うことの責任がいかにか重要であるかという視点で取り組むことがこれからの教育であり、少子化社会に向かう大学経営のために利用される獣医学教育を許してはならない論理が明確にされました。

本年度も事業計画に従い準会員である獣医学科在校生支援を中心に据えて、新入生歓迎会、スポーツフェスタ助成、国家試験会場でのサポート、卒業生の成績優秀者表彰、卒業記念品の贈呈、ANMEC研究助成を行います。併せてHPの充実、同窓生と大学の連携に尽力し、情報伝達に尽力してまいります。来る平成29年には獣医学科は創立110周年を迎えます。同窓各位におかれましては、母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



## ご挨拶

獣医学科主任 杉谷 博 士 (昭和47年卒)

会長の中川秀樹先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠に有難く存じております。厚くお礼を申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に129名の卒業生を送り出しました。全員が獣医師国家試験に臨み、117名が合格しました。合格率は90.7%と全国平均88.0%を上回り、私立獣医系大学内でトップの座を占めております。新卒業生は既にそれぞ

れの就職先で活躍を始めております。

4月には140(男63、女77)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は832(男349、女483)名で、女子学生の比率が高い状態が続いております。

生物資源科学部は、昨年12月に大矢祐治教授が学部長に就任され、新しい執行部がスタートしましたが、当獣医学科からは丸山総一教授が学務担当に就かれております。また、附属施設の家畜病院長には中山智宏教授、動物医科学研究センター長に森友忠昭教授、総合科学研究所長に野上貞雄教授が就任され、大きくメンバーが入れ替わり、更なる学部の発展が期待される所です。

当獣医学科の教育に関しては、獣医学教育の質の保障と向上を目的とした取り組みとして5つの柱、すなわち、(1)モデル・コア・カリキュラムの策定・実施、(2)教育研究体制の充実、(3)共用試験の導入・実施、(4)附属家畜病院・実習環境の改善、(5)分野別第三者評価の導入・実施が設えられておりますが、本年度もこれに基づいた講義・実習が進められております。

これを進めるにあたっては、教育体制の充実は不可欠のものです。獣医内科学研究室で眼科が専門の滝山直昭先生と獣医薬理学研究室の齋藤光芳先生が助教から専任講師に、また、獣医公衆衛生学研究室の佐藤真伍先生が助手から助教に昇格されました。獣医内科学研究室には新たに菅野信之先生が就任され、循環器を専門に受け持たれており、更なる充実が図られております。

共用試験はCBT(Computer Based Testing)とOSCE(Objective Structured Clinical Examination; 客観的臨床能力試験)を4年次後半から5年次前半に受験する制度で、全国獣医系大学では本年度から本格的な開始となります。当獣医学科は、モデル・コア・カリキュラムに基づく新カリキュラムが平成26年にスタートしたため、1年遅れの本格開始となるのですが、学年全員の受験が滞りなく進められるよう、全教員が一致協力してシミュレーションを行い、トライアルを重ねている所です。

附属家畜病院・実習環境の改善に関しては、有給研修医制度の見直しが行われ、今までの4年の研修コースが前2年と後2年の段階的なコースになりました。また、公募範囲を広げ、試験日も早めたためか選考試験の受験者数は増え、結果として次年度は10名の研修医の採用が予定されています。

先に紹介しました獣医学教育の質の保証と向上には国際化が最終目的に掲げられております。当獣医学科の取り組みとしましては、毎年、米国ワシントン州立大学獣医学部への夏期研修が行われており、毎年20名前後の学生が参加し、2週間の実習を受けております。今年も、山谷吉樹教授を団長とした枝村一弥准教授、小熊圭祐専任講師、大野真美子助教の教員チームと一緒に、20名の学生が研修に参加をしてきました。

また、当獣医学科では、毎年外国から教育・研究者を招聘し、学生に英語による講義を受けてもらっています。今年度は11月にドイツレーゲンスブルク大学のKarl Kunzelmann 教授や米国サンフランシスコ州立大学のRavinder Sehgal 准教授の講義が予定されています。

一方、日本大学の海外派遣研究員制度を利用して、約1年間の教員の留学も進めております。現在は獣医臨床病理学研究室の丸山治彦専任講師が米国コーネル大学へ、坂井学准教授がオランダユトレヒト大学へ留学されており、海外での研修に励まれています。

これらの取り組みにより、国際化に対応した教育体制が確立されてゆくものと期待を致しております。

9月24日には第15回医療系同窓・校友学術講演会が日本大学本部で開催され、「教育について」をテーマに、当獣医学科では杉谷が「獣医学教育はグローバル化を目指すか」というタイトルで話をさせて頂きました。獣医学教育の改革や現状を他学部を含めた同窓や校友の皆様を知って頂くよい機会と思われました。

さて、9月には「獣医学が紡ぐOne Health」をテーマに第159回日本獣医学会学術集会在本学部キャンパスの新しい校舎を利用して開催されました。1,700名を超える参加者があったとのこと。丸山総一教授が大会長、遠矢幸伸教授が実行委員長を務められ、多くの教員や学生の協力えて準備や運営が行われたことが、学術集會を盛会に導いたものと思われます。

日本大学の制度が少しずつ変わり、定年退職については、今までは65歳で定年を迎えた後に延長制度で70歳まで在職延長が可能だったのですが、経済を含めた様々な世間の動向に伴い、定年延長ができなくなりました。その結果、当獣医学科では津曲茂久教授、野上貞雄教授、湯川眞嘉教授が65歳で、また、中西照幸教授、佐藤常男教授、泉對博教授と杉谷が67歳で来年3月末に定年退職となります。退職後は再雇用教授あるいは特任教授の形で獣医学教育に協力することになりますが、定年退職に伴い、若返りの人事が始まります。一つの世代交代の時期を迎えていると考えられますが、将来の獣医学科を担う人材の採用に期待が集まっています。

多くの大学は、少子化による受験者数の減少や入学者の定員割れを懸念して、様々な対策を講じ始めております。魅力ある大学作りは、その対策に即した部分と思われます。当獣医学科も、角笛会の先生方からもご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一人丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進し、より魅力ある獣医学科に致したいと思ひます。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

## ◆◆◆◆◆平成28年度角笛会総会・第54回日本大学獣医学会開催◆◆◆◆◆

事務局長 鯉江 洋



教育講演の様子

平成28年6月25日(土)、日本大学生物資源科学部1号館 第131講義室において平成28年度角笛会総会および第54回日本大学獣医学会が開催され、多くの会員が集まりました。日本大学獣医学会では渋谷久担当学会長のもと、口頭発表による10題の一般講演、次いで教育講演として「今、知っておくべき猫の医学」と題し、五味浩司先生(獣医解剖学研究室)、入交眞巳先生(日獣大・臨床獣医学部門・治療学分野)、永田雅彦先生(どうぶつの総合病院)、難波信一先生(マール動物医療センター)、枝村一弥先生(獣医外科学研究室)、亘敏広先生(獣医内科学研究室)により行われました。本年度も一般講演と教育講演の時間を大幅に確保したプログラムとなり、会員55名、学生・ANMEC研修医141名、その他8名と200名を超える方にご参加いただき、また会場からの熱心な質問

も多く、内容の充実した学会となりました。

角笛会総会では中川秀樹会長より挨拶があり、北澤浩一議長(昭和54年卒)の進行で審議が行われました。総会に先立ち、諸先生方のご訃報に際し、黙禱が行われました。平成27年度の事業活動および会計収支報告があり、承認されました。また平成28年度の事業活動および予算案が審議され、満場一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として富樫稔氏(山形県)、田中義朗氏(群馬県)、太田靖穂氏(新潟県)、田川博稔氏(熊本県)の4人に賞状と記念品が授与されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC研究助成金は、大野真美子氏(研究課題:フィブロスキャンを用いた牛の肝臓の硬度および脂肪沈着量の測定に関する研究)が授賞しました。総会后、食堂棟3階にて開催された懇親会には他学科同僚校友会の来賓、角笛会校友、大学教員そして学部生(準会員)など多数の参加者が集まりました。鳥海弘副会長(昭和50年卒)の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。



功労者の授与式

### 【第54回日本大学獣医学会プログラム】

会 長：亘 敏広 (日本大学 生物資源科学部)

副会長：山田武喜 (亀戸動物病院)、渋谷 久 (日本大学 生物資源科学部) 担当学会長：渋谷 久 (日本大学 生物資源科学部)

教育講演 今、知っておくべき猫の医学

座長：中山智宏 (獣医放射線学研究室)、直井昌之 (直井動物病院)

- 1. 猫と犬の比較解剖学  
五味浩司 (獣医解剖学研究室)
- 2. 猫の行動から猫を知る  
入交眞巳 (日獣大・臨床獣医学部門・治療学分野)
- 3. "ねこ"の皮膚科診療  
永田雅彦 (どうぶつの総合病院)

- 4. 猫の糖尿病治療 ~そんなに簡単??~  
難波信一 (マール動物医療センター)
- 5. 実は多い高齢猫の関節疾患  
枝村一弥 (獣医外科学研究室)
- 6. 猫の消化管疾患 IBD? それともリンパ腫?  
亘 敏広 (獣医内科学研究室)

一般講演 (口頭発表)

座長：壁谷英則 (獣医公衆衛生学研究室)

- 1. 学校飼育動物におけるウサギの皮膚糸状菌調査  
福富 輝、加納 壘、鎌田 寛
- 2. エチオピアにおける狂犬病ウイルスの分子系統解析  
伊藤優真、日高侑也、Asefa Deressa、小林由紀、伊藤琢也

座長：安井 禎 (獣医解剖学研究室)

- 3. 犬の口腔悪性黒色腫におけるレプチンの発現  
下山 綾、渋谷 久、大石実樹、山本成実、佐藤常男
- 4. 犬の消化管間質腫瘍 (GIST) における分子病理学的検索  
山本成実、佐藤常男、渋谷 久

座長：小熊佳祐(獣医伝染病学研究室)

- 5. ネコ滑膜線維芽細胞におけるIL-1 誘導性の新規ERK活性調節：JNK依存性MEK/ERK経路  
北中 卓、中野 令、北中菜葉子、木村太郎、岡林 堅、成田貴則、杉谷博士
- 6. ネコ滑膜線維芽細胞におけるグルコサミンによるIL-1 誘導性COX-2発現の抑制  
北中菜葉子、中野 令、北中 卓、木村太郎、岡林 堅、成田貴則、杉谷博士
- 7. 腎臓尿管細胞におけるIL-1 誘導性NGAL分泌と機能  
今野志好、中野 令、間宮 遼、成田貴則、岡林 堅、杉谷博士
- 8. イヌ滑膜線維芽細胞のTNF- によるIL-8の発現とMAPキナーゼ経路の関与  
難波信一、中野 令、北中 卓、岡林 堅、成田貴則、杉谷博士

座長：滝山直昭(獣医内科学研究室)

- 9. 犬の前十字靭帯断裂例における超音波検査の有用性  
大岩直毅、枝村一弥、安川慎二、関真美子、浅野和之
- 10. 天草諸島の野生イノシシと飼育犬の抗トキソプラズマ抗体保有状況(紙上発表)  
奈良崎孝一郎、奈良崎和孝、野上貞雄



### 総会資料

#### 平成27年度 一般会計収支決算報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 本部会費	1,400,000	1,110,000	290,000	各支部より(110名×1,000円)
2. 親会費	2,500,000	2,399,000	101,000	親友会本部
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入	110	127	△ 17	利息等
5. 前年度繰越額	697,890	697,890	0	平成26年度分
収入合計(A)	4,798,000	4,407,017	390,983	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常費	1,760,000	1,653,523	106,477	
(1) 会費	20,000	3,258	16,742	会議等
(2) 交際費	300,000	279,010	20,990	支部総会費・会・雑費等
(3) 旅費交通費	960,000	869,885	90,115	支部総会費等
(4) 通信運搬費	80,000	62,787	17,213	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	400,000	438,583	△ 38,583	給付・消耗品等
2. 会費費	350,000	404,892	△ 54,892	会費1号(会費送料) 部数増加
3. 名簿管理費	100,000	112,401	△ 12,401	業務委託等
4. 準会員支援費	1,000,000	900,215	99,785	給付金(給付金)の内行事支援
5. 療養費	100,000	120,969	△ 20,969	会費
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第5回日本大学獣医学系同窓会
7. 補助費	130,000	130,000	0	第1回日本大学獣医学系同窓会・校友会
8. 組織維持費	400,000	259,200	140,800	ホームページ管理費
9. 特別会計I	0	0	0	名簿会計へ
10. 特別会計II	500,000	150,000	350,000	将来事業基金・AMEC研究助成金
11. 特別会計III	200,000	0	200,000	角笛学生会支援基金
12. 予備費	58,000	0	58,000	
支出合計(B)	4,798,000	3,931,191	866,809	二重取りの懸行

平成27年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B)

475,826 円

#### 平成27年度 懇親会費収支報告書

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
懇親会参加費		265,000		45人×5000円・祝儀
準会員参加費		235,000		本部計(準会員支援費より)
収入合計		500,000		

  

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
懇親会費		500,000		

#### 平成28年度 一般会計予算(案)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 本部会費	1,200,000	1,400,000	△ 200,000	1200名×1000円
2. 親会費	2,400,000	2,500,000	△ 100,000	親友会本部より
3. 学部校友会交付金	200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入	174	110	64	預金利息等
5. 寄付	300,000	0	300,000	
6. 前年度繰越額	475,826	697,890	△ 222,064	
収入合計	4,676,000	4,798,000	△ 222,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 経常費	1,850,000	1,760,000	90,000	
(1) 会費	10,000	20,000	△ 10,000	会議等
(2) 交際費	300,000	300,000	0	支部総会等祝儀
(3) 旅費交通費	960,000	960,000	0	支部総会等旅費
(4) 通信運搬費	80,000	80,000	0	通信
(5) 事務局運営費	500,000	400,000	100,000	給付・消耗品等
2. 会費費	350,000	350,000	0	会費3号
3. 名簿管理費	100,000	100,000	0	業務委託等
4. 準会員支援費	1,000,000	1,000,000	0	給付金・中卒生支援金・懇親会費等
5. 療養費	100,000	100,000	0	給付金・角笛会会長費・特別費
6. 学会補助費	200,000	200,000	0	第5回日本大学獣医学系同窓会
7. 医療系校友会補助費	130,000	130,000	0	第15回日本大学獣医学系同窓会・校友会
8. 組織維持費	400,000	400,000	0	ホームページ管理費
9. 特別会計I	0	0	0	名簿会計繰入金
10. 特別会計II	200,000	500,000	△ 300,000	将来事業基金・AMEC研究助成金
11. 特別会計III	240,000	200,000	△ 200,000	角笛学生会支援基金
12. 予備費	240,000	58,000	182,000	
支出合計	4,676,000	4,798,000	△ 222,000	

#### 平成27年度 特別会計I 収支決算報告書【名簿会計】

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	平成27年度分
2. 雑収入	550	534	16	利息
3. 繰越額	3,251,444	3,251,444	0	
収入合計(A)	3,252,000	3,251,978	22	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 名簿作成積立金	0	0	0	
2. 雑支出	0	0	0	
支出合計(B)	0	0	0	

平成27年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B)

3,251,978 円

#### 平成27年度 特別会計II 収支決算報告書【将来事業資金】

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 将来事業繰入金	200,000	0	200,000	平成27年度分
2. ANMEC研究助成金	300,000	150,000	150,000	
3. 雑収入	80	803	△ 723	利息
4. 繰越額	3,647,920	3,647,920	0	
収入合計(A)	4,148,000	3,798,723	349,277	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 将来事業積立金	3,743,000	0	3,743,000	
2. ANMEC研究助成金	300,000	150,000	150,000	原簿平氏
3. 予備費	105,000	0	105,000	
支出合計(B)	4,148,000	150,000	3,998,000	

平成27年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B)

3,648,723 円

#### 平成27年度 特別会計III 収支決算報告書【支援基金】

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 角笛学生会支援基金	200,000	0	200,000	平成27年度分
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,300,000	1,300,000	0	
収入合計(A)	1,500,000	1,300,000	200,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 角笛学生会支援基金	1,300,000	0	1,300,000	
支出合計(B)	1,300,000	0	1,300,000	

(備考：特別会計IIIの雑収入は特別会計IIの雑収入内に含まれる。)

平成27年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B)

1,300,000 円

#### 平成28年度 特別会計I 予算【名簿会計】(案)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	550	550	0	預金利息等
3. 繰越額	3,251,978	3,251,444	△ 534	
収入予算合計	3,252,000	3,252,000	0	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 名簿作成積立金	3,252,000	3,252,000	0	
2. 雑支出	0	0	0	
支出予算合計	3,252,000	3,252,000	0	

#### 平成28年度 特別会計II 予算【将来事業資金】(案)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 将来事業積立金	0	200,000	△ 200,000	一般会計より
2. ANMEC研究助成金	200,000	300,000	△ 100,000	一般会計より
3. 雑収入	277	80	197	預金利息等
4. 繰越額	3,648,723	3,647,920	803	
収入予算合計	3,849,000	4,148,000	△ 299,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 将来事業積立金	3,649,000	3,818,000	△ 169,000	平成28年度分は一般会計からの繰入金
2. ANMEC研究助成金	200,000	300,000	△ 100,000	
3. 予備費	0	0	0	
支出合計	3,849,000	4,148,000	△ 299,000	

#### 平成28年度 特別会計III 予算【支援基金】(案)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 角笛学生会支援基金	0	200,000	△ 200,000	
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,300,000	1,300,000	0	
収入予算合計	1,300,000	1,500,000	△ 200,000	

支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 角笛学生会支援基金	1,300,000	1,500,000	△ 200,000	
支出合計	1,300,000	1,500,000	△ 200,000	

(備考：特別会計IIIの雑収入は特別会計IIの雑収入内に含まれる。)

## 平成28年度角笛会主催 獣医師採用病院説明会の開催

事務局長 鯉 江 洋



獣医師採用病院説明会の様子

平成28年6月25日(土)(平成28年度日本大学獣医学会・角笛会合同大会と同日)、日本大学生物資源科学部1号館第111、112、113講義室において、角笛会準会員である獣医学科学生のための獣医師採用病院説明会が開催されました。説明会の趣旨・目的に賛同し、ご参加いただいた動物病院は24施設で、学生は5、6年生を中心に132名が参加しました。就職活動としては勿論のこと、低学年の動物病院見学や実習などさまざまな情報交換が行われ、動物病院、学生の双方から有意義なイベントとなったと好評を得ました。来年度も開催を予定しておりますので、多くのご参加をお待ちしております。

## スポーツフェスタ2016にTシャツを提供

平成28年5月14日(土)にスポーツフェスタ2016が開催されました。角笛会は、学生がデザインした獣医学科オリジナルTシャツを1年生全員に提供しました。

《写真提供》学部内発見隊：難波亜美(食品ビジネス学科)、外山結恵(生命化学科)、アイザワ写真館



## 動物病院だより

動物病院長 中山 智 宏

昨年12月に河野英一前学部長から大矢祐治学部長が選出されたことに伴い、新しく病院長となりました。歴代の病院長がこれまで積み上げてこられた動物病院の良い所を引き継ぎ、そして、将来へとさらに発展する病院体制を築いていきたい所存です。どうか、これからも変わらぬご愛顧をいただけますよう心からお願い申し上げます。

さて、動物病院の近況をご報告いたします。本年4月に菅野信之先生が内科に専任講師として赴任されました。上地正実教授が退職されてから循環器科がしばらく手薄となっていましたので、今後の充実が期待されます。8月末に次年度4月採用予定の有給研修医の選考試験を無事に終えました。嬉しいことに有給研修医の応募者数は、採用予定者数を越えていました。これは首都圏にある他の獣医科大学附属動物病院においてさえも、近頃、研修医確保が難しくなっている状況を鑑みますと、非常に恵まれていることです。採用予定者は新卒生となりますので、2月の国家試験の無事を祈るばかりです。9月10日発売の週刊東洋経済において、「みんなペットに悩んでいる」という特集が組まれました。記事には獣医療の最新事情やペット業界に関連する問題点が50ページにわたって組まれています。その中で「プロが本当に信頼する動物病院」として、日本大学動物病院が第1位にランキングされています。ランキングの集計には多少問題はあるものの、第1位に選ばれたことは何よりのことです。昨年4月に獣医産業動物臨床研究室が新設され、堀北哲也教授が赴任されました。現在、当研究室が急速に整備され、また、地域NOSAI、獣医師、酪農家との交流が深まり、臨床フィールドの確保が進んでいます。これからの産業動物臨床の発展が期待されます。

全国の獣医科大学附属動物病院には、共通の大きな課題があります。それは参加型臨床実習の導入です。その概要は従来見学のみであった病院内での実習に代わり、学生に診療支援として動物に触れ、また飼い主さんと直接お話しをする機会を与えるものです。参加型臨床実習を実施するにあたり、全国共通のモデルコアカリキュラムが作成され、CBTおよびOSCEから構成される共用試験の準備が併せて進んでいます。私立大学は学生数が国立大学の約4倍であるにも係わらず、教員数はその倍数に遠く及ばないことから、参加型臨床実習実施にはさまざまな問題点が浮上してきています。第1に上げられることとしては、教員数の絶対的な不足です。また、十分な病院スペースもありません。これまで動物病院は獣医療の高度化に向けて努力し、施設や機器の充実を図ってきました。しかし、参加型臨床実習の導入決定により、学生教育が後手に回っていたことがあらためて顕在化しました。本学では2年後に参加型臨床実習がスタートします。そのことから、何らかの形で臨床教育スタッフを少しでも確保する努力が必要です。また、充実した実習には症例数の確保も非常に大切なことです。どうか、これからも先生方からの貴重な症例のご紹介をお願い申し上げます。

動物病院では皆様の見学を歓迎しています。お近くにお越しの際は、是非、ご連絡下さい。

## ANMECセミナー開催報告

ANMECセミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加ください。

## 平成27年度 ANMECセミナー開催 (第226回～第230回)

## 第226回 (H27.11.16開催)

演題：「犬の肘関節疾患のUp Date：最新の整形外科はどこに向かっているのか？」

Dr. Steven A. Martinez (ワシントン州立大学整形外科)

## 第227回 (H27.12.7開催)

演題：「動物を取り巻く細菌と健康・疾病との関わり～プロバイオティクスの可能性を含めて～」

高橋志達先生 (ミヤリサン製薬株式会社 事業戦略部部长、東京研究部部长)

## 第228回 (H28.1.25開催)

演題：「The 神経 2016」

伊藤大介先生 (獣医神経病学研究室)

## 第229回 (H28.2.8開催)

演題：「剖検のススメ ～米国獣医病理学専門医となった卒業生からのメッセージ～」

近藤広孝先生 (米国獣医病理学専門医、どうぶつの総合病院 病理科)

## 第230回 (H28.3.14開催)

演題：「研修医修了による症例検討会」

ANMEC有給研修医修了予定者6名

## 平成28年度 ANMECセミナー開催 (第231回～第234回)

## 第231回 (H28.4.18開催)

演題：「ノースカロライナ州立大学麻酔科診療と学生教育」  
手島健次先生 (獣医麻酔・呼吸器学研究室)

## 第232回 (H28.5.16開催)

演題：「先端医療技術トレーニングにおけるブタの麻酔」  
川島重子先生 (獣医師、株式会社アダチ)

## 第233回 (H28.6.20開催)

演題：「動物の繁殖戦略から生殖工学まで」  
津曲茂久先生 (獣医臨床繁殖学研究室)

## 第234回 (H28.7.11開催)

演題：「犬と猫の人工心肺装置を用いた心臓手術」  
菅野信之先生 (獣医内科学研究室)



## 動物医科学研究センターセミナー開催報告

## 動物医科学研究センターセミナー開催 (第113回～第121回)

## 第113回 (H27.12.8開催)

演題：「鯨類の感染症 (検査・治療・技術開発)」  
柳澤牧央先生 (沖縄美ら海水族館 獣医師)

## 第114回 (H28.1.12開催)

演題：「ウイルスの分子進化解析からわかること」  
鈴木善幸先生

(名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科 教授)

## 第115回 (H28.2.9開催)

演題：「食肉流通と人獣共通寄生虫症」  
松尾加代子先生

(岐阜県食肉衛生検査所 / 岐阜大学 応用科学学部 客員准教授)

## 第116回 (H28.5.10開催)

演題：「先端医学研究における霊長類の役割」  
山海 直先生

(医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医学研究センター)

## 第117回 (H28.6.14開催)

演題：「インフルエンザウイルスの生残メカニズム：  
ゲノム分節の選択的認識がゲノム構築を保證する」  
五藤秀男先生  
(岐阜大学応用生物科学部 人獣共通感染症研究所)

## 第118回 (H28.7.12開催)

演題：「外来種を含む野生動物の食中毒菌と薬剤耐性菌の保有状況」  
炭山大輔先生  
(日本大学生物資源科学部 暮らしの生物学科)

## 第119回 (H28.9.13開催)

演題：「遺伝育種学的アプローチによる海産養殖魚の感染症防除」  
澤山英太郎先生  
(愛媛大学大学院連合農学研究科・特定研究員)

## 第120回 (H28.10.11開催)

演題：「Tリンパ球の抑制機構」  
竹馬俊介先生 (慶応大学医学部 微生物免疫学教室)

## 第121回 (H28.11.8開催)

演題：「海外病としての豚繁殖・呼吸障害症候群に迫る」  
井関 博先生 (動物衛生研究所)



## 獣医学科の近況

## 【獣医師国家試験】

第67回獣医師国家試験が平成27年2月16日、2月17日にTOC有明4階にて行われました。日本大学獣医学科から129名が受験し、117名が合格しました。合格率は90.7% (全国平均88.0%) でした。

## 【表彰、受賞】

平成27年度の卒業生のうち優等賞が横山かえでさん、学部長賞が森井敦子さん、井本康俊さん、日本獣医師会長賞が石川隆博さん、角笛会長賞が飯塚恵悟さん、山口美咲さん、角笛会特別賞が浅川雅清さんにそれぞれ授与されました。また、校友から、永野美由紀さん (東京都健康安全研究センター主事：平成19年卒)、上津ひろなさん

(岐阜県庁健康福祉部食肉衛生検査所技師：平成22年卒) が学部長賞を授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

課程博士：土屋 久氏、大井誠明氏、根本有希氏、安川慎二氏、吉田織江氏

論文博士：永山矩美子氏、福井廣祐氏、李 准碩氏

【退 職】

河合茉莉子実習助手（家畜病院）、小森千聖実習助手（家畜病院）が退職されました。

【人事・昇格】

滝山直昭先生（獣医内科学研究室）、齋藤光芳先生（獣医薬理学研究室）が専任講師に、佐藤真伍先生（獣医公衆衛生学研究室）が助教に昇格されました。

【新 任】

菅野信之専任講師（獣医内科学研究室）が採用されました。

■新任の先生の自己紹介



(獣医内科学研究室)  
菅野信之専任講師

2016年4月1日より獣医内科学研究室の専任講師に着任いたしました菅野信之と申します。私は平成18年に本学獣医学科を卒業いたしました。在学中から心臓病に興味をもち、卒業研究では犬に対するピモベンダンの有用性に関して研究してきました。その後も、日本大学大学院に進学し、心臓バイオマーカーについて研究をして博士の学位を取得しました。宮崎大学に赴任してからは、以前から興味をもっていた心臓外科手術を積極的に行ってきました。関東の方に戻ってきてからも犬で最も多い僧帽弁閉鎖不全症の外科手術を実施し良好な手術成績を残すことができました。日本大学に再び戻り、動物病院では循環器科として循環器内科および外科を担当させていただいており、周りの手助けもあり、すでに体外循環を用いた心臓手術を開始することができました。研究としては、体外循環下での僧帽弁形成術の手術が最も多いため、より安全な手術になるよう改良を加えていきたいと考えております。角笛会の皆様には多々お世話になることもあると思いますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■平成28年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験（第1期）	35名	1,026名	106名	9.7倍
本校試験（第2期）	15名	510名	24名	21.3倍
センター試験利用	10名	560名	21名	26.7倍
一般推薦（公募制）	学部全体で100名	45名	30名	1.5倍
一般推薦（公募制・関連産業界後継者）	学部全体で26名	13名	8名	1.6倍
校友子女推薦（公募制）	学部全体で28名	9名	7名	1.3倍

■学年担任（平成28年度）

- 1年次 山谷吉樹教授（獣医麻酔・呼吸器学）、関真美子専任講師（獣医外科学）、西村知良准教授（一般教養）
- 2年次 五味浩司教授（獣医解剖学）、鈴木由紀助教（獣医衛生学）
- 3年次 渋谷 久教授（獣医分子病理学）、高橋朋子専任講師（獣医放射線学）
- 4年次 亘 敏広教授（獣医内科学）、大滝忠利専任講師（獣医臨床繁殖学）
- 5年次 鯉江 洋教授（獣医病態生理学）、齋藤光芳専任講師（獣医薬理学）
- 6年次 遠矢幸伸教授（獣医微生物学）、松本 淳准教授（医動物学）



# トピックス

## 第15回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催 事務局長 鯉江 洋 (平成2年卒)



大塚学長のご挨拶

第15回日本大学医療系同窓・校友 (医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会) 学術講演会は平成28年9月24日 (土)「教育について」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。今回は角笛会が当番幹事で、学長 大塚吉兵衛先生にご臨席を賜り、また来賓としてご挨拶を頂戴いたしました。角笛会の講演は、学科主任 杉谷博士先生 (昭和47年卒) が「獣医学教育はグローバル化を目指すか」と題して発表しました。



講演する杉谷先生

講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がっておりました。日本大学医療系同窓・校友学術講演会は毎年9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。



学長室にて(左から鯉江事務局長、大塚学長、中川会長)

- |  |  |
|--|--|
| <p>第15回日本大学医療系同窓・校友学術講演会<br/>日 時：平成28年9月24日(土) 13:30~17:30<br/>場 所：日本大学会館 大講堂<br/>司会・進行<br/>鯉江 洋 (生物資源科学部獣医学科獣医病態生理学研究室 教授)<br/>開会の辞<br/>中川秀樹 (当番学部挨拶 角笛会 会長)<br/>来賓挨拶<br/>大塚吉兵衛先生 (日本大学学長)<br/>第1講演 日本大学薬学部校友会<br/>・我が国の薬学部における薬学教育の現状と将来展望<br/>演者：中村智徳 (慶應義塾大学薬学部 医療薬学部門 教授)<br/>座長：日高慎二 (薬学部医薬品評価科学研究室 教授)<br/>第2講演 日本大学医学部同窓会<br/>・医療系分野におけるシミュレーション教育<br/>演者：木下浩作 (医学部救急医学系救急集中治療医学分野 教授)<br/>座長：平山晃康 (医学部脳神経外科系神経科学分野 教授)<br/>第3講演 日本大学歯学部同窓会<br/>・如何に良質な歯科医師を育てるか - 歯科医師臨床研修の現状 -<br/>演者：紙本 篤 (日本大学歯学部 総合歯科学分野 准教授)<br/>座長：荒井法行 (歯学部同窓会 学術委員)</p> | <p>第4講演 日本大学松戸歯学部同窓会<br/>・授業方略の工夫と記憶・学修効果の向上<br/>演者：平塚浩一 (松戸歯学部 生化学・分子生物学講座 教授)<br/>座長：宇都宮忠彦 (松戸歯学部 口腔病理学講座 准教授)<br/>第5講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会・角笛会<br/>・獣医学教育はグローバル化を目指すか<br/>演者：杉谷博士 (生物資源科学部獣医学科獣医生化学研究室 教授)<br/>座長：鯉江 洋 (生物資源科学部獣医学科獣医病態生理学研究室 教授)<br/>総合討論<br/>座長：鯉江 洋 (生物資源科学部獣医学科獣医病態生理学研究室 教授)<br/>閉会の辞<br/>内倉和雄 (次回当番学部 薬学部校友会 会長)<br/>懇親会<br/>司会・進行：鯉江 洋<br/>(生物資源科学部獣医学科獣医病態生理学研究室 教授)</p> |
|--|--|

## 平成27年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成27年度は全国の17支部へ教員を派遣しました。多くの支部が活発に活動している様子が見えます。

H27年 5月16日(土)	富 嶽 会 (農学校友会)	中 川 秀 樹	9月18日(金)	石川県支部 (七尾市)	鯉 江 洋
6月13日(土)	F T 会	中 川 秀 樹	10月3日(土)	岐阜県支部 (岐阜市)	加 納 壘
6月27日(土)	短期大学部湘南校友会	中 川 秀 樹	10月24日(土)	福岡県・佐賀県支部 (嬉野市)	北 川 勝 人
7月4日(土)	桜 水 会	中 川 秀 樹	10月24日(土)	岩手県支部 (花巻市)	丸 山 総 一
7月11日(土)	学 部 校 友 会 総 会	中川秀樹、教員7名	11月22日(日)	長崎県支部 (諫早市)	渋谷 久
7月17日(金)	福 島 県 支 部	渋谷 久	12月4日(金)	山形県支部 (天童市)	小 熊 圭 祐
7月24日(金)	岡 山 県 NOSAI 支 部	津 曲 茂 久	H28年 1月10日(日)	東 京 角 笛 会	
7月26日(日)	新 潟 県 支 部	岡 林 堅	2月7日(日)	千葉県支部 (千葉市)	齊 藤 光 芳
7月26日(日)	京都府支部 (京都市)	鎌 田 寛	2月13日(土)	茨城県支部 (水戸市)	渋谷 久
8月30日(日)	北海道支部 (札幌市)	北 川 勝 人	3月6日(日)	群馬県支部 (高崎市)	森 友 忠 昭
8月8日(土)	東北北海道支部 (帯広市)	鯉 江 洋	3月6日(日)	静岡県支部 (静岡市)	渋谷 久
9月5日(土)	熊本県支部 (熊本市)	鯉 江 洋			(敬称略)

## 平成28年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成28年度も昨年と同様に各支部総会に教員を派遣しています(平成28年11月12日現在)。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報ください。

H28年 5月14日(土)	富 嶽 会 総 会	中 川 秀 樹	8月20日(土)	東北海道支部(中標津)	枝 村 一 弥
6月4日(土)	いもづる会総会	中 川 秀 樹	8月20日(土)	長野県下伊那支部(飯田市)	鯉 江 洋
6月11日(土)	桜 水 会 総 会	中 川 秀 樹	9月3日(土)	熊本県支部(熊本市)	森 友 忠 昭
7月9日(土)	学 部 校 友 会 総 会	学科教員	10月8日(土)	岐阜県支部(岐阜市)	岡 林 堅
7月10日(日)	北海道支部(札幌市)	山 谷 吉 樹	10月22日(土)	宮崎県支部(宮崎市)	鯉 江 洋
7月24日(日)	京 都 支 部	津 曲 茂 久	10月22日(土)	岩手県支部(盛岡市)	伊 藤 琢 也
7月24日(日)	栃木支部(宇都宮市)	丸 山 総 一	11月10日(木)	神奈川県支部(本学部)	中川秀樹、学科教員
7月31日(日)	高知県支部(高知市)	浅 野 和 之			(敬称略)

## 角笛会関連記事(支部だより)

### ■群馬県支部だより

#### 平成28年 角笛会群馬県支部総会



平成28年次の支部総会・記念講演会・懇親会は、3月6日(日)に高崎市のホテルメトロポリタンで、比較免疫学研究室の森友忠昭教授をご来賓として迎えて開催され、41人の参加者がありました。

県内には、森友先生と同じ昭和61年卒の同級生が、故人を含めて9人居ますので同窓会と同期会が一緒のなったような、大変に和やかで楽しい雰囲気でした。

文責：支部長 田村 幸生(昭和45年卒)

### ■神奈川県支部だより

#### 角笛会神奈川県支部親睦会に参加して

3月27日の日曜日に、はじめて角笛会の親睦会に参加しました。今回は、箱根駅伝の小田原中継所でも有名な「鈴鹿かまぼこの里」でのかまぼこ手作り体験でした。今までなかなかこういった行事に参加することはありませんでしたが、今回は身近な場所での開催ということと妻からかまぼこ作るの楽しそうという声もあり、同世代で同じ支部の先生夫婦とともに参加させていただきました。

体験教室は、かまぼこの板に刃がない包丁のようなもので、すり身をうまく半円状に少しずつ空気が入らないようにのせたり、竹の棒にちくわ用のすり身を巻きつけちくわを作ったり、作業自体はシンプルで比較的短時間でしたが、大人になってからのこういった体験教室は、童心に戻れて意外



と楽しめました。

また、味のほうもかまぼこもちくわもけっこう美味しかったです。とくにちくわは、魚の旨みがとってもよく感じられて、さらに賞味期限が当日のみとあってすごく新鮮でした。

懇親会でも、普段関わることが少ない先輩方と大学の昔の話などで盛り上がり、ついつい飲みすぎて次の日、けっこう二日酔いでしたが、とても有意義な会でした。

日程や場所などで、今後も参加できるときとできないときがもちろんあるかと思いますが、また、機会があれば参加させていただこうと思いました。まだまだ若輩者でご迷惑おかけすることもあるかもしれませんが、どうぞ、よろしくをお願いします。

文責：中谷 和男(平成17年卒)



## ■秋田県支部だより



年次大会・角笛会同窓会ブース にぎわい交流館AU4F

平成28年2月26日（金）～28日（日）の3日間、平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（秋田）が秋田市内3会場で行われ、大会初日の26日に年次大会角笛会同窓会を開催したところ、48名と多数の皆様からご参加頂きました。凍える様な外の寒さとは違い熱気に溢れ、非常に有意義な時間を皆様と過ごすことが出来ました。

文責：事務局 小原 剛（平成10年卒）



年次大会・角笛会同窓会 秋田ビューホテル



## ■岐阜県支部だより

平成28年10月8日（土）、「うを義」にて開催。

派遣教員：岡林 堅



## ■長野県支部だより

長野県下伊那支部（飯田市）。平成28年8月20日（土）、「柚木元」にて開催。 派遣教員：鯉江 洋



## 事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支部総会に現職教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。

## ◆◆◆◆◆ 角笛会関連記事(同期会だより) ◆◆◆◆◆

## ■昭和36年卒「愛信桜会」は島根県隠岐で

例年2泊3日の校友も含む同期会、平成27年は、10月25日（日）より27日（火）まで島根県隠岐で開催した。晴天に恵まれ、最終日の解散後、正午頃より曇りのちときおり小雨であった。

各々、境港からフェリーや高速船、出雲空港から飛行機で島後の西郷港に集合し、隠岐の島の北西、ホテル海音里の送迎バスでホテルに着き、宿泊、第2日は、西郷港よりフェリーで島前の菱浦港（海士町）別府港（西ノ島町）来居港（知夫村）で降り、大型タクシーで、赤ハゲ山、赤壁を見て高速艇で別府港に行き、大型タクシーで黒木御所跡、赤尾展望所、観音岩、通天橋、摩天崖などを見て、別府港より国賀荘の送迎バスでホテル着、1泊。帰路、船や飛行機の各自の都合で午前、高速艇で別府港 菱浦港 西郷港で下船した者 境港に向かった会員もいた。

この隠岐の担当幹事は、渋谷谷先生とご夫人で、そのほかの参加者は倉林 (同伴)、竹下勇先生 (ご夫人同伴)、豊厚司先生、蔵田幸男先生 (ご夫人同伴) であった。

平成28年は、茨城県筑波山で担当幹事は、鈴木英行先生である。

文責：倉林恵太郎

日本大学生物資源科学部獣医学科教員 (敬称略 H28.4.1現在) 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866 電話：0466-84-直通番号

Table listing faculty members across various departments such as 獣医解剖学研究室, 獣医病理学研究室, 獣医分子病理学研究室, etc., with names and phone numbers.

学会関連記事

第55回日本大学獣医学会開催案内

日時：平成29年6月頃
場所：未定
問合せ：事務局

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
日本大学生物資源科学部
獣医衛生学研究室 (伊藤 琢也)
TEL.0466-84-3375
E-mail: itou.takuya@nihon-u.ac.jp

編集後記

私は、平成13年に本学を卒業し平成17年に教員となり、すでに10年以上が経ちました。事務局を担当しているため、会員の方と接する機会も多く、また教え子も会員として活躍しています。しかし、多くの方とお会いする中で卒業生であるのに会員として認識されていない方もいるのではないかと危惧しています。角笛会では、各地方支部、同期会を支援しています。いくつかの研究室では定期的に同窓会を開催しています。皆様が卒業生として角笛会会員として、母校との関係を継続していただくことが獣医学科の発展に寄与すると思っております。また、母校との連携を深めることで、卒業生の活躍に貢献できると考えています。角笛会事務局は、そのお手伝いをしています。角笛会会報にご意見、ご希望等ございましたら、獣医衛生学研究室の岡林 (okabayashi.ken@nihon-u.ac.jp) あるいは角笛会事務局 (tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp) までご連絡ください。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。(平成28年10月 岡林 堅 平成13年卒)

角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。

ホームページアドレス
http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~tsuno\_hp/index.shtml

